

HR0とビデオで見たふたご群(小関正広 藤戸健司)

HR0によって捉えられる流星は発信点と受信点を焦点とする回転楕円体面上に出現したものであることが確かめられた。今回の調査でHR0により検出された流星のほとんどは福井-四日市の間点を中心としてほぼ300km以内のものであった。ふたご群の流星に由来すると思われる「ロングエコー」は見いだされなかった。ほとんどのふたご群の流星はHR0の継続時間が数秒以下であり、これはふたご群を形成する流星体の組成に関するものかもしれない。